

山中湖自転車・歩行者道景観検討委員会（第3回） 議事内容

日時：平成25年2月20日（水） 10:00～11:30

場所：KKR甲府ニュー芙蓉 楓（かえで）

■委員会出席者

山梨大学大学院 教授	北村 眞一（委員長）
山梨大学大学院 教授	大山 勲
山中湖村副村長	羽田 伸司（代理出席）
山梨県道路整備課道路企画監	池谷 和樹
国土交通省甲府河川国道事務所長	吉岡 大藏
国土交通省甲府河川国道事務所調査第二課長	水川 靖男

■議事内容

設計中間報告



第3回委員会の状況

■意見集約

- ・ 棧橋の支柱は、湖面から棧橋を見た時に安心感を与える構造となるよう配慮を。
- ・ ゾーン3・4では転落防止柵は必要最小限で設置した方が良い。
- ・ 照明を高欄の支柱に収納する際は、支柱と照明がバラバラな印象にならないよう、デザインも一体的に。
- ・ 照明の光（演色）は、やわらかく温かい印象のものが良い。
- ・ ポケットパークは、四角形のバルコニー型として通行帯をクランク状にすることで自転車の速度を抑え、歩行者等の利用者が溜まりやすい場となるよう工夫を。
- ・ ポケットパークと直近の坂路は接続し、一体型とすべき。
- ・ 親水スロープは、湖側に少し張り出した親水護岸とし、階段を設けると良いのではないかと。また、親水護岸を湖側に張り出すことで自転車・歩行者道の幅員が広がるので、それを利用してバス停と一体的なデザインとすると良い。
- ・ フラワーポットは、棧橋の床材（木）と調和する素材・デザインとなるよう配慮を。
- ・ 景観に配慮した自転車・歩行者道が整備されるが、地域住民の協力による沿道美化についても検討してはどうか。
- ・ 明神前交差点は山中湖の玄関口として景観の改善が望ましい。